

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2010-63230(P2010-63230A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-224758(P2008-224758)

【国際特許分類】

H 02 N 2/00 (2006.01)

【F I】

H 02 N 2/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月2日(2011.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

振動体に振動波を生じさせ、この振動体に加圧接触する移動体を摩擦力により相対移動させる振動波モータであって、

前記移動体は、前記振動体に加圧接触することが可能な第1の領域と、

前記第1の領域の周囲に配置され、前記振動体が接触しない第2の領域とを備え、

前記第1の領域は、前記第2の領域より剛性が低く、かつ前記振動体の加圧方向に弾性変形が可能である、

ことを特徴とする振動波モータ。

【請求項2】

前記移動体の前記第1の領域と前記第2の領域との間に、周方向に沿って複数の切欠きを形成した、

ことを特徴とする請求項1に記載の振動波モータ。

【請求項3】

前記移動体の前記第1の領域において、前記振動体が前記移動体を駆動させる駆動方向の剛性に対して前記駆動方向と直交する方向の剛性を低くした、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載の振動波モータ。

【請求項4】

前記移動体の前記第1の領域が、前記第2の領域に対して前記振動体の側に突出する凸形状とされている、

ことを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載の振動波モータ。

【請求項5】

前記移動体は、前記第1の領域を複数有し、互いに駆動方向が異なる複数の前記振動体が、前記複数の第1の領域に対して個別に加圧接触するように配置される、

ことを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の振動波モータ。

【請求項6】

前記移動体において、前記複数の第1の領域のうち、少なくとも1つが、他の第1の領域に対して前記振動体の加圧方向の剛性が異なる、

ことを特徴とする請求項第5に記載の振動波モータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明の振動波モータは、振動体に振動波を生じさせ、この振動体に加圧接触する移動体を摩擦力により相対移動させる振動波モータであって、前記移動体は、前記振動体に加圧接触することが可能な第1の領域と、前記第1の領域の周囲に配置され、前記振動体が接触しない第2の領域とを備え、前記第1の領域は、前記第2の領域より剛性が低く、かつ前記振動体の加圧方向に弾性変形が可能である、ことを特徴とする。